

**🐞** そうだね。例えば、これまでは市役所で開かれる災害対策本部の会議には総合支所の支所長も出席していたんだ。だけど総合支所長は地元を守る責任者だから、「地元に残って災害対応をしっかりと被曝の発生を防ぐことを最優先にしてほしい」ということで、本庁舎に来るのはやめて、地元の災害情報をしっかりと収集し報告することになったんだよ。

**🐞** **ところでシロモチくん。市民の皆さんは市の呼び掛けでちゃんと避難しているの？**

**🐞** 実は避難所への避難率はあまり高くなかったんだ。

**🐞** **どうしてなの？**

**🐞** 例えば、主に一志地域を流れる波瀬川では、避難を呼び掛ける川の水位と、地域の人たちが危険と感じる水位との間に大きな開きがあって、避難する行動に結び付かないことが分かったんだ。それに、波瀬川が氾濫してもすぐには危険とならない地域の人たちにも、同時に避難を呼び掛けていたんだよ。

**🐞** **まだ大丈夫だと思って避難しなかったんだね。**

**🐞** そこで、三重大学の先生や自治会長さん、消防団の一志方面団長さん、そして国や三重県、市の関係者が「波瀬川における避難のあり方検討会」を設置して、避難する基準の水位を見直したり、避難を呼び掛ける地域を細かくすることなどを話し合っ、より現実的なものになるようにしたんだよ。

**🐞** **その結果はどうだったの？**

**🐞** 避難を呼び掛ける地域やそのタイミングがよりきめ細かくなったので、今年の台風第11号が来たときには避難する人がかなり増えたんだよ。

**🐞** **それは良かったね。他の川の見直しもするの？**

**🐞** 現在、国が管理する雲出川の水位の見直しについて、国土交通省と話し合っているんだ。それと、三重県が管理する川についても見直しをお願いしているところなんだよ。

**🐞** **早くできるといいね。ところで、もし夜中に避難の呼び掛けがあったときはどうすればいいの？**

**🐞** 市が指定した避難所に避難するのが基本だけど、夜中だと外が暗くて周りの様子がよく分からないよね。



**🐞** **うん。もうすでに家の周りに水が来ているかもしれないし、それだと外に出るとかえって危ないよね。**

**🐞** そうだね。だから、避難が遅れたり、避難所に行くことが危険と感じたときは、浸水からの避難だったら自宅の2階に上がるとか、土砂崩れだったら山と反対側の2階の部屋に避難して、自分の命を守ることが大切なんだ。

**🐞** **そうすればいいんだ。**

**🐞** これは垂直避難といって、国が「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」で勧めている避難の方法なんだよ。

**🐞** **市から避難を呼び掛ける情報も大切だけど、危険と感じたときは自分で考えて、命を守る行動を取ることがとても大切だということがよく分かったよ。**

**🐞** それともうひとつ大切なことは、自分が住んでいる場所や地域の災害が起こったときの危険性をよく知っておくことなんだ。

**🐞** **私もしっかり勉強しておくね。**

**🐞** 災害対策に終わりはないから、これからも市民の皆さんの安全・安心のために頑張るよ。

